

ヨハネの黙示録 3 章 14-22 節

7 の教会への 7 の手紙 (7) ラオデキヤ

3:14 また、ラオデキヤにある教会の御使いに書き送れ。『アーメンである方、忠実で、真実な証人、神に造られたものの根源である方がこう言われる。

3:15 「わたしは、あなたの行いを知っている。あなたは、冷たくもなく、熱くもない。わたしはむしろ、あなたが冷たいか、熱いかであってほしい。

3:16 このように、あなたはなまぬるく、熱くも冷たくもないので、わたしの口からあなたを吐き出そう。**3:17** あなたは、自分は富んでいる、豊かになった、乏しいものは何もないと言って、実は自分がみじめで、哀れで、貧しくて、盲目で、裸の者であることを知らない。

3:18 わたしはあなたに忠告する。豊かな者となるために、火で精錬された金をわたしから買いなさい。また、あなたの裸の恥を現さないために着る白い衣を買いなさい。また、目が見えるようになるため、目に塗る目薬を買いなさい。

3:19 わたしは、愛する者をしかったり、懲らしめたりする。だから、熱心になって、悔い改めなさい。**3:20** 見よ。わたしは、戸の外に立ってたたき。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。

3:21 勝利を得る者を、わたしとともにわたしの座に着かせよう。それは、わたしが勝利を得て、わたしの父とともに父の御座に着いたのと同じである。

3:22 耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。」』」

はじめに

黙示録**3:22** 「耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。」

七つの手紙全部の結論部分にこの言葉が書いてあります。つまり、この内容は同時に全ての教会のすべての信者の為にもあるのです。どこの教会の信者でも、手紙の真実と約束を自分自身に適用して自分の経験として証明する事が出来ます。

1. イエス様の自己紹介 (14節)

黙示録**3:14** 「また、ラオデキヤにある教会の御使いに書き送れ。『アーメンである方、忠実で、真実な証人、神に造られたものの根源である方がこう言われる。』

イエス様が自分に対して使っている言葉は全部、完全に信用出来る真実として繰り返し強く強調されています。分かりやすくまとめて言いますと、自分自身は永遠に変わらぬ絶対的な神の言葉である、ということです。それで最後に、「神に造られた物の根源である方」という表現を使っています。万物は神の言葉で作られて、その言葉は永遠の神のひとり子です。

ヨハネ**1:1-3** 「初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。**1:2** この方は、初めに神とともにおられた。**1:3** すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。」

使徒パウロはコロサイ人への手紙で更に明確な言葉で同じ事実を書きました。

コロサイ人**1:14** この御子のうちにあつて、私たちは、贖い、すなわち罪の赦しを得ています。

1:15 御子は、見えない神のかたちであり、造られたすべてのものより先に生まれた方です。

1:16 なぜなら、万物は御子にあつて造られたからです。天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られたのです。万物は、御子によって造られ、御子のために造られたのです。

1:17 御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあつて成り立っています。」

なぜ、イエス様はご自分が永遠に変わらない神の言葉だと強調してラオデキヤの信者達に自己紹介しているかを考えて解釈するのが大切です。七つの教会の手紙では、イエス様はそれぞれの教会の

信者の必要に応じて自己紹介しているからです。ラオデキヤはコロサイの町に近く、両方の教会は繋がっていて、似ている状況と問題がありました。コロサイ人への手紙の内容と比べて見るともっと深く知る事が出来ます。

コロサイ人**4:16** 「この手紙があなたがたのところで読まれたなら、ラオデキヤ人の教会でも読まれるようにしてください。あなたがたのほうも、ラオデキヤから回ってくる手紙を読んでください。」両方の教会に、同じ環境、同じ事情、そして同じ戦いもありました。その上、この世的な知恵、つまりこの世に属すると言う考えと哲学が入ってしまったので、「神の言葉であるキリストの教えより、優れていると言う間違った考え方に気を付けなさい」と使徒パウロも書きました。

コロサイ人**2:7-8** 「キリストの中に根ざし、また建てられ、また、教えられたとおりに信仰を堅くし、あふれるばかり感謝しなさい。

2:8 あのむなししい、だましごとの哲学によってだれのとりこにもならぬよう、注意しなさい。そのようなものは、人の言い伝えによるものであり、この世に属する幼稚な教えによるものであって、キリストに基づくものではありません。」

ヤコブ**3:15** 「そのような知恵は、上から来たものではなく、地に属し、肉に属し、悪霊に属するものです。」

このように、聖書はこの世に属する知恵はどこから来ているかを明確に教えてくれています。それは悪魔に仕えている悪霊から来ています。残念ながら、ラオデキヤの教会の信者は先に送られたコロサイ人の手紙の教えを十分に受け入れないで、この世的な考え方、つまり、悪魔の嘘に基づいているこの世的な知恵を受け入れてしまった状態になっています。ラオデキヤに宛ててイエス様が直接送った今日の手紙の内容は、この世的な教会になっている状態とその真の姿を現わしています。この世的になってしまっている教会と信者達を正す為に先ず、永遠に変わらない真理である神様の言葉が一番必要です。それで、イエス様は自分自身が神の言葉だとその信頼性を強調して自己紹介をしているのです。

2. イエス様の叱る言葉 (15-17節)

黙示録**3:15** 「わたしは、あなたの行いを知っている。あなたは、冷たくもなく、熱くもない。わたしはむしろ、あなたが冷たいか、熱いかであってほしい。

3:16 このように、あなたはなまぬるく、熱くも冷たくもないので、わたしの口からあなたを吐き出そう。**3:17** あなたは、自分は富んでいる、豊かになった、乏しいものは何もないと言って、実は自分がみじめで、哀れで、貧しくて、盲目で、裸の者であることを知らない。」

先週のフィラデルフィア教会に送った手紙と真逆で、ラオデキヤ教会に送った手紙には一つも褒める部分がありません。

15-16節には厳しい言葉ですがこの世的な信者が生ぬるくてイエス様は口から吐き出したいと言っています。後ではっきり見ることが出来ますが、これは愛していないと言う意味ではないので、少し説明する必要があります。イエス様は、「あなた方は完全に死んで冷たくなったほうがましである」と言っておられるのではなくて、「未信者なら魂が死んでいるから冷たくて仕方がないが、あなた方は信者として私の愛の真の富を一度体験して知っているのに、この世の嘘に基づいた価値観を選んでいるから、それが私にとって一番気持ち悪い」と言う意味です。イエス様の義理の弟ヤコブはもっときつい言葉で書きました。

ヤコブ**4:4-5** 「貞操のない人たち。世を愛することは神に敵することであることがわからないのですか。世の友になりたいと思ったら、その人は自分を神の敵としているのです。

4:5 それとも、「神は、私たちのうちに住ませた御霊を、ねたむほどに慕っておられる。」という聖書のことばが、無意味だと思うのですか。」

分かりやすく言い換えれば、イエス様は私達の心の中で2番目になるのが絶対に嫌だと言う程、私達を愛して下さっているのです。この世のどんな物でも私達の心でイエス様より大切になったら、それがイエス様に対して生ぬるい愛となり、イエス様にとって何よりも気持ち悪い事なのです。しかも、物質的な物だけではなくて、地位や権力など、つまり、この世の価値観を受け入れてしまうなら、イエス様を第一にしていません。その結果として自分の本当の姿が分からなくなってしまい

ます。全てに対して歪んだ価値観から、自分自身についても真の姿が見えなくなってしまう。それがV17節にはっきり書いてあります。

黙示録3:17「あなたは、自分は富んでいる、豊かになった、乏しいものは何もないと言って、実は自分がみじめで、哀れで、貧しくて、盲目で、裸の者であることを知らない。」

これを読む時に、覚えておかなければならないのはイエス様が自分の信者に対してこれを言っているということです。多くの説教ではこの箇所が未信者に対して適用されていますが、元々イエス様は信者に対して使っています。彼らは未信者と同じこの世的な目から見て何が富、何が知恵、何が美しいかと考え、間違ったこの世と同じ歪んだ価値観を持つようになっています。未信者ならば、イエス様の与える本当の富と知恵と美しさを一度も経験したことはないから仕方ありませんが、信者の場合、イエス様の本物の富と価値観を経験して知っているのに、嘘の富と価値観を選んでしまっているから、厳しく叱られているのです。

「自分がみじめ、哀れ、貧しくて、盲目で、裸の者である」というのは、イエス様を信じる信仰によって与えられる真の富を忘れて霊的に貧しく、盲目と裸の状態です。霊的な意味で神様に対して貧しくなって御言葉の真理に対する理解力がなくなり、神の御心、すなわち、何が神に喜ばれるかが見えなくなった盲目の状態だという意味です。最後の部分は、イエス様の聖い、美しい性質の代わりに、生まれながらの罪の性質、自己中心的な恥ずかしい姿が現わされているという意味で自分が裸だと分かっているという意味です。彼らは真の富、心の豊かさとしさを失ってしまっています。使徒パウロも真の富について書きました。

テモテ第一6:6「しかし、満ち足りる心を伴う敬虔こそ、大きな利益を受ける道です。」

3. イエス様の励ましの言葉。(18-19節)

黙示録 3:18「わたしはあなたに忠告する。豊かな者となるために、火で精錬された金をわたしから買いなさい。また、あなたの裸の恥を現わさないために着る白い衣を買いなさい。また、目が見えるようになるため、目に塗る目薬を買いなさい。」

もちろん、イエス様はお金で買いなさいと言う意味で言っていないし、働くことによって買いなさいと言う意味でもありません。比喩的に買うと言う動詞を使っているのは、歴史の学者達の意見では、ラオデキヤの町は商売で豊かな町になっていたからです。聖書では神様の救いとそれに伴う全ての霊的な祝福は恵みのゆえに贈り物として与えられていると教えられています。

エペソ2:8「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。」

ラオデキヤに送られた手紙の続きを見たら、どのようにしてイエス様から、真の富を頂けるかが具体的に説明されています。

黙示録3:19「わたしは、愛する者をしかったり、懲らしめたりする。だから、熱心になって、悔い改めなさい。」

イエス様の彼らに対する愛は全く変わっていないし、イエス様は諦めないし、彼らを見捨てません。逆に悔改めるように導く愛を持って叱っておられます。イエス様はこの言葉によって彼らが何を悔い改めるべきかと言うことも教えています。「熱心になって悔い改めなさい。」と言うのは、生ぬるい愛を悔い改める為に、この世的な物を第一に求める事を止めてイエス様を第一にしなさいと言うことです。そうすれば、心に熱心な神の愛が溢れる程持てるようになります。ですから、「熱心になって悔い改めなさい」と言う表現をここで言っています。

18節に戻ってみると、三つの真の宝物について書いてあります。火で精錬された金と白い衣と心の目の為の目薬です。時間がないので簡単に説明してみます。先ず火で精錬された金についてですが、これは試されても全てを乗り越える本物の信仰です。

ペテロ第一1:7「信仰の試練は、火を通して精錬されてもなお朽ちて行く金よりも尊いのであって、イエス・キリストの現われのときに称赞と光栄と栄誉に至るものであることがわかります。」

次に「白い衣」はイエス様との交わりによってイエス様の義の衣です。

黙示録3:「4 しかし、サルデスには、その衣を汚さなかった者が幾人かいる。彼らは白い衣を着て、わたしとともに歩む。彼らはそれにふさわしい者だからである。」

最後に「心の目が見える目薬」は、神の御心の価値観で正しく見えるようになることです。

ローマ12:1-2「そういうわけですから、兄弟たち。私は、神のあわれみのゆえに、あなたがたにお願いします。あなたがたのからだを、神に受け入れられる、聖い、生きた供え物としてささげなさい。それこそ、あなたがたの霊的な礼拝です。」

12:2 この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまを知るために、心の一新によって自分を変えなさい。」

全てを明け渡してイエス様を第一する事によって本物の富が分かるし、熱心にイエス様を愛するようになります。

まとめ

イエス様の約束の言葉(20-21節)

黙示録3:21 勝利を得る者を、わたしとともにわたしの座に着かせよう。それは、わたしが勝利を得て、わたしの父とともに父の御座に着いたのと同じである。3:22 耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。」』」

イエス様はこんなに愛して下っているからこそ、忍耐強く私達の心の戸の外で立って叩きながら、声をかけて下さっています。それで、「だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。」と書いてあるのです。このイエス様の言葉は二つの大切な事を教えています。一つは、イエス様は完璧な紳士だということです。誰に対しても強制的に自分の意志を押し付ける事はしません。「だれでも、私の声を聞いて戸を開けるなら入る」とあるように、それまで忍耐強く外で待ちます。この前にも言いましたので繰り返しになりますが、これは生ぬるい信者達に対して言っています。多くの説教では未信者に対して適用されていますが、当然、未信者に対する適用でも出来ます。イエス様をまだ受け入れていないが、受け入れたいと思う人がいるなら、その思いがイエス様の声としてはっきりまだ分かっていないけれども、それに応答して今、心を開いてイエス様を受け入れるなら、100%の確率でイエス様が入って下さるし、後から必ずイエス様の声だったのが分かってきます。誰も、最初にイエス様を受け入れる時に、イエス様の声だとはっきり分かっている人はいませんが、受け入れてから、振り返ると必ず分かるようになる時が来ます。「誰でも開くなら」と言っているのです、これは一人で個人的に開くという意味で、あなた以外にだれも、あなたの心の戸を開くことはできません。最後に更なる永遠の約束もあります。七つの手紙に、最後まで信じ続けることによって勝利を得る者の為に天国で与えられる更なる素晴らしい約束があります。七つの手紙にある全ての信者の為に与えられています。

3:21 「勝利を得る者を、わたしとともにわたしの座に着かせよう。それは、わたしが勝利を得て、わたしの父とともに父の御座に着いたのと同じである。」

先週も見ましたがもう一度見てください。

黙示録1:5 また、忠実な証人、死者の中から最初によみがえられた方、地上の王たちの支配者であるイエス・キリストから、恵みと平安が、あなたがたにあるように。イエス・キリストは私たちを愛して、その血によって私たちを罪から解放し、

1:6 また、私たちを王国とし、ご自分の父である神のために祭司としてくださった方である。キリストに栄光と力とが、とこしえにあるように。アーメン。